

令和8年度 前期 数学 出題方針と内容

難易度の高い問題は避け、基本的な知識をもとに思考し処理を行う標準的な問題とした。

< 出題構成 >

解析系：微分法・積分法（数Ⅱ、数Ⅲ）、関数（二次、三次、三角）

幾何系：図形と計量、図形の性質、ベクトル、図形と方程式

その他：数列、場合の数と確率、集合と命題

問題番号		科目	対象	出題領域	出題意図	備考	
1	1	数 A	●全学部：必須	場合の数	円順列に関する基本事項の理解度を問う問題。 7人を円形に並べる円順列について、特定の人数が隣り合う場合及び隣り合わない場合の数を求めることができるかを問うている。	共通 地域創造学部：記述 情報システム学部：客観	やや易
	2	数Ⅱ	●全学部：必須	三角関数	三角関数に関する基本事項の理解度を問う問題。 三角関数の合成や相互関係を用いた計算及び三角関数の値から角を求めることができるかを問うている。	共通 地域創造学部：記述 情報システム学部：客観	標準
	3	数Ⅰ	●全学部：必須	データの分析	データの分析に関する基本事項の理解度を問う問題。 5個のデータの平均、分散及び2つの変量の相関係数を求めることができるかを問うている。	共通 地域創造学部：記述 情報システム学部：客観	やや易
2		数Ⅱ	●地域創造学部：必須 ●システム学科：必須	微分・積分の考え	数Ⅱの微分・積分の考えに関する基本事項の理解度と計算力を問う問題。 2つの放物線の両方に接する直線の方程式及び接線と2つの放物線で囲まれた部分の面積を求めることができるかを問うている。	地域創造：記述 システム学科：記述	標準
3		数 A	●地域創造学部：選択(3,4,5から2問)	確率	条件付き確率と期待値に関する基本事項の理解度を問う問題。 コインの表裏に応じて数直線上で点を動かす試行。コインを投げる回数で定める点の座標の確率、条件付き確率及び期待値を求めることができるかを問うている。	地域創造：記述	標準
4		数 B	●地域創造学部：選択(3,4,5から2問) ●情報システム学部：必須	数列	漸化式と数列の和に関する基本事項の理解度と計算力を問う問題。 偶数項と奇数項で表された連立漸化式からそれぞれの一般項、等比数列の和及び(等差)×(等比)型の数列の和を求めることができるかを問うている。	共通：記述	標準
5		数 C	●地域創造学部：選択(3,4,5から2問) ●情報システム学部：必須	ベクトル	平面上のベクトルの基本事項に関する理解度を問う問題。 平行四辺形において、ベクトルの平行条件・垂直条件及び図形の性質を利用し、内積、ベクトルの大きさ及び交点の位置ベクトルを求めることができるかを問うている。	共通：記述	標準
6		数Ⅲ	●セキュリティ学科：必須	微分法 積分法	数Ⅲの微分法と積分法の基本事項の理解度と計算力を問う問題。 三角関数を含む関数について、不定積分、微分の計算、関数の最大値・最小値及び曲線と直線で囲まれた部分の面積を求めることができるかを問うている。	セキュリティ学科：記述	標準